

表 V-4-1 細菌性髄膜炎 年齢階級別報告数・定点あたり報告数

	2001年		2002年		2003年		2004年		2005年	
	報告数 (人)	定点あたり (人/定点)	報告数 (人)	定点あたり (人/定点)	報告数 (人)	定点あたり (人/定点)	報告数 (人)	定点あたり (人/定点)	報告数 (人)	定点あたり (人/定点)
0-4歳	160	0.34	148	0.31	158	0.34	205	0.43	151	0.32
5-9歳	12	0.03	20	0.04	24	0.05	31	0.07	19	0.04
10-14歳	5	0.01	9	0.02	4	0.01	10	0.02	6	0.01
15-19歳	6	0.01	5	0.01	4	0.01	3	0.01	3	0.01
20-29歳	7	0.02	13	0.03	9	0.02	14	0.03	16	0.03
30-39歳	8	0.02	15	0.03	12	0.03	16	0.03	13	0.03
40-49歳	9	0.02	13	0.03	15	0.03	18	0.04	8	0.02
50-59歳	17	0.04	25	0.05	14	0.03	23	0.05	21	0.04
60-69歳	22	0.05	22	0.05	30	0.06	31	0.07	28	0.06
70-79歳	18	0.04	17	0.04	24	0.05	31	0.07	23	0.05
80-89歳	7	0.02	6	0.01	2	0.00	6	0.01	11	0.02
90歳-	2	0.00	2	0.00	0	0.00	0	0.00	2	0.00
全年齢	273	0.59	295	0.63	296	0.64	388	0.82	301	0.64

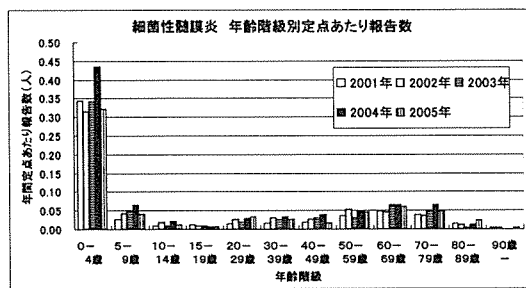


表 V-4-2 無菌性髄膜炎 年齢階級別報告数・定点あたり報告数

	2001年		2002年		2003年		2004年		2005年	
	報告数 (人)	定点あたり (人/定点)	報告数 (人)	定点あたり (人/定点)	報告数 (人)	定点あたり (人/定点)	報告数 (人)	定点あたり (人/定点)	報告数 (人)	定点あたり (人/定点)
0-4歳	420	0.90	883	1.87	578	1.24	323	0.68	258	0.54
5-9歳	468	1.00	1201	2.55	599	1.29	351	0.74	298	0.63
10-14歳	100	0.21	389	0.83	133	0.28	114	0.24	69	0.15
15-19歳	46	0.10	102	0.22	33	0.07	30	0.08	19	0.04
20-29歳	78	0.17	125	0.27	107	0.23	79	0.17	33	0.07
30-39歳	60	0.13	148	0.31	95	0.20	71	0.15	47	0.10
40-49歳	27	0.06	50	0.11	34	0.07	25	0.05	22	0.05
50-59歳	28	0.06	26	0.06	21	0.05	28	0.06	11	0.02
60-69歳	6	0.01	15	0.03	9	0.02	10	0.02	9	0.02
70-79歳	13	0.03	5	0.01	10	0.02	7	0.01	3	0.01
80-89歳	4	0.01	3	0.01	4	0.01	5	0.01	4	0.01
90歳-	0	0.00	1	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
全年齢	1250	2.88	2948	6.28	1621	3.49	1041	2.21	771	1.64

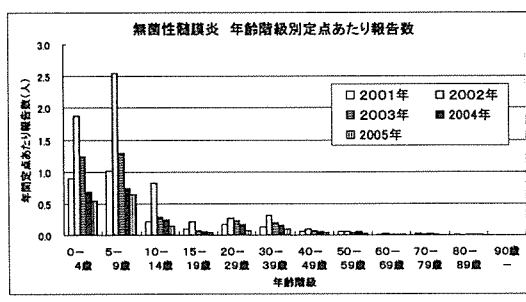


表 V-4-3 マイコプラズマ肺炎 年齢階級別報告数・定点あたり報告数

	2001年		2002年		2003年		2004年		2005年	
	報告数 (人)	定点あたり (人/定点)	報告数 (人)	定点あたり (人/定点)	報告数 (人)	定点あたり (人/定点)	報告数 (人)	定点あたり (人/定点)	報告数 (人)	定点あたり (人/定点)
0-4歳	1289	2.76	1543	3.27	2288	4.93	2670	5.66	3173	6.74
5-9歳	1703	3.65	1528	3.24	1924	4.14	1808	3.83	1864	3.96
10-14歳	785	1.68	693	1.47	830	1.79	822	1.74	852	1.81
15-19歳	100	0.21	94	0.20	133	0.29	110	0.23	144	0.31
20-29歳	124	0.27	137	0.29	151	0.33	155	0.33	218	0.46
30-39歳	105	0.23	105	0.22	120	0.26	134	0.28	213	0.45
40-49歳	45	0.10	49	0.10	49	0.11	83	0.18	72	0.15
50-59歳	39	0.08	36	0.08	63	0.14	55	0.12	66	0.14
60-69歳	25	0.05	39	0.08	47	0.10	45	0.10	70	0.15
70-79歳	25	0.05	29	0.06	45	0.10	46	0.10	81	0.17
80-89歳	8	0.02	11	0.02	23	0.05	31	0.07	58	0.12
90歳-	1	0.00	4	0.01	5	0.01	7	0.01	9	0.02
全年齢	4249	9.11	4268	9.06	5678	12.23	5966	12.64	6820	14.50

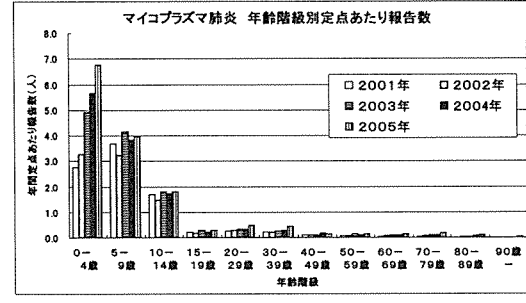


表 V-4-4 クラミジア肺炎 年齢階級別報告数・定点あたり報告数

	2001年		2002年		2003年		2004年		2005年	
	報告数 (人)	定点あたり (人/定点)	報告数 (人)	定点あたり (人/定点)	報告数 (人)	定点あたり (人/定点)	報告数 (人)	定点あたり (人/定点)	報告数 (人)	定点あたり (人/定点)
0-4歳	18	0.04	23	0.05	22	0.05	14	0.03	31	0.07
5-9歳	39	0.08	20	0.04	11	0.02	10	0.02	15	0.03
10-14歳	14	0.03	13	0.03	6	0.01	6	0.01	8	0.02
15-19歳	1	0.00	2	0.00	5	0.01	2	0.00	7	0.01
20-29歳	5	0.01	4	0.01	6	0.01	10	0.02	19	0.04
30-39歳	11	0.02	7	0.01	9	0.02	18	0.04	10	0.02
40-49歳	2	0.00	6	0.01	5	0.01	10	0.02	17	0.04
50-59歳	15	0.03	14	0.03	9	0.02	21	0.04	16	0.03
60-69歳	16	0.03	37	0.08	40	0.09	34	0.07	45	0.10
70-79歳	30	0.06	66	0.14	58	0.12	68	0.14	85	0.18
80-89歳	23	0.05	34	0.07	24	0.05	46	0.10	56	0.12
90歳-	8	0.02	19	0.04	10	0.02	9	0.02	13	0.03
全年齢	182	0.39	245	0.52	203	0.44	248	0.53	322	0.68

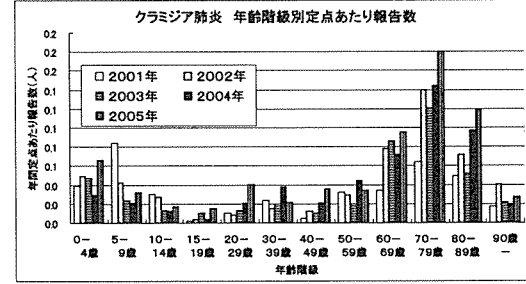
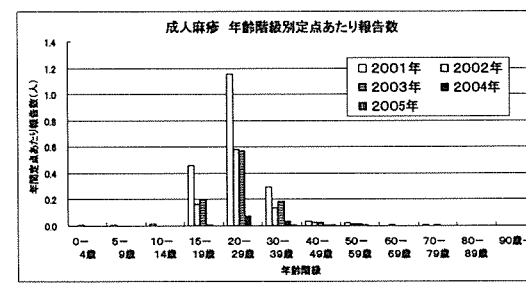


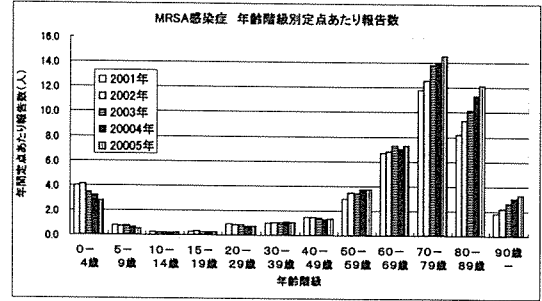
表 V-4-5 成人麻疹 年齢階級別報告数・定点あたり報告数

	2001年		2002年		2003年		2004年		2005年	
	報告数 (人)	定点あたり (人/定点)	報告数 (人)	定点あたり (人/定点)	報告数 (人)	定点あたり (人/定点)	報告数 (人)	定点あたり (人/定点)	報告数 (人)	定点あたり (人/定点)
0-4歳	0	0.00	3	0.01	0	0.00	0	0.00	0	0.00
5-9歳	3	0.01	1	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
10-14歳	6	0.01	1	0.00	1	0.00	0	0.00	0	0.00
15-19歳	214	0.46	77	0.16	91	0.20	4	0.01	0	0.00
20-29歳	538	1.15	274	0.58	264	0.57	34	0.07	1	0.00
30-39歳	137	0.29	65	0.14	86	0.19	14	0.03	3	0.01
40-49歳	16	0.03	13	0.03	13	0.03	3	0.01	2	0.00
50-59歳	9	0.02	5	0.01	5	0.01	3	0.01	0	0.00
60-69歳	0	0.00	2	0.00	1	0.00	1	0.00	1	0.00
70-79歳	3	0.01	0	0.00	4	0.01	0	0.00	0	0.00
80-89歳	1	0.00	0	0.00	0	0.00	1	0.00	1	0.00
90歳-	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
全年齢	927	1.99	441	0.94	485	1.00	60	0.13	8	0.02



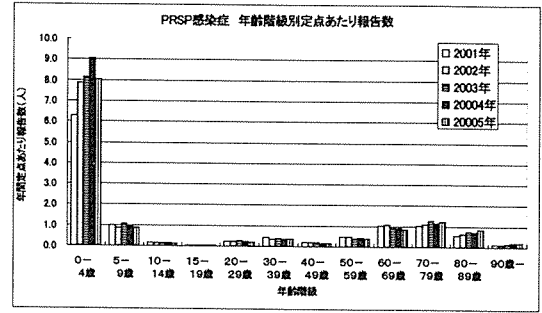
表V-4-6 MRSA感染症 年齢階級別報告数・定点あたり報告数

	2001年		2002年		2003年		2004年		2005年	
	報告数 (人)	定点あたり (人/定点)	報告数 (人)	定点あたり (人/定点)	報告数 (人)	定点あたり (人/定点)	報告数 (人)	定点あたり (人/定点)	報告数 (人)	定点あたり (人/定点)
0-4歳	1802	4.00	1915	4.14	1627	3.49	1513	3.22	1310	2.79
5-9歳	358	0.79	338	0.73	346	0.74	289	0.62	236	0.50
10-14歳	116	0.26	86	0.19	82	0.18	94	0.20	87	0.19
15-19歳	114	0.25	139	0.30	122	0.26	126	0.27	122	0.26
20-29歳	395	0.88	401	0.87	378	0.81	318	0.68	342	0.73
30-39歳	433	0.96	480	1.04	490	1.05	501	1.07	483	1.03
40-49歳	655	1.45	670	1.45	650	1.39	618	1.32	632	1.35
50-59歳	1344	2.98	1597	3.45	1597	3.42	1752	3.73	1761	3.75
60-69歳	3020	6.70	3162	6.83	2403	7.29	3297	7.02	3402	7.24
70-79歳	5302	11.76	5802	12.54	6436	13.79	6586	14.02	6815	14.51
80-89歳	3672	8.14	4318	9.33	4750	10.18	5310	11.30	5712	12.16
90歳-	810	1.80	996	2.15	1236	2.65	1431	3.05	1552	3.31
全年齢	18257	40.48	19904	43.02	21117	45.24	21835	46.47	22454	47.82



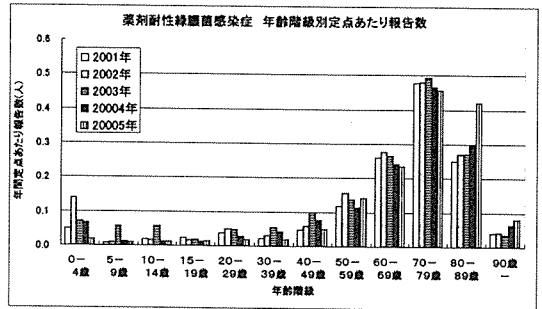
表V-4-7 PRSP感染症 年齢階級別報告数・定点あたり報告数

	2001年		2002年		2003年		2004年		2005年	
	報告数 (人)	定点あたり (人/定点)	報告数 (人)	定点あたり (人/定点)	報告数 (人)	定点あたり (人/定点)	報告数 (人)	定点あたり (人/定点)	報告数 (人)	定点あたり (人/定点)
0-4歳	2842	6.30	3644	7.88	3795	8.13	4248	9.04	3764	8.02
5-9歳	439	0.97	410	0.89	490	1.05	451	0.96	401	0.85
10-14歳	72	0.16	70	0.15	68	0.15	69	0.15	56	0.12
15-19歳	15	0.03	16	0.03	25	0.05	12	0.03	23	0.05
20-29歳	99	0.22	115	0.25	120	0.26	103	0.22	84	0.18
30-39歳	202	0.45	169	0.37	181	0.39	174	0.37	168	0.36
40-49歳	84	0.19	85	0.18	89	0.19	73	0.16	82	0.17
50-59歳	209	0.46	213	0.46	190	0.41	203	0.43	179	0.38
60-69歳	462	1.02	498	1.08	425	0.91	423	0.90	397	0.85
70-79歳	470	1.04	513	1.11	589	1.26	531	1.13	574	1.22
80-89歳	258	0.57	285	0.62	351	0.75	329	0.70	387	0.82
90歳-	50	0.11	53	0.11	77	0.16	84	0.18	102	0.22
全年齢	5202	11.53	6071	13.12	6400	13.71	6700	14.26	6217	13.24



表V-4-8 薬剤耐性緑膿菌感染症 年齢階級別報告数・定点あたり報告数

	2001年		2002年		2003年		2004年		2005年	
	報告数 (人)	定点あたり (人/定点)	報告数 (人)	定点あたり (人/定点)	報告数 (人)	定点あたり (人/定点)	報告数 (人)	定点あたり (人/定点)	報告数 (人)	定点あたり (人/定点)
0-4歳	22	0.049	64	0.14	33	0.071	31	0.066	9	0.019
5-9歳	3	0.007	4	0.01	27	0.058	5	0.011	4	0.009
10-14歳	8	0.018	8	0.02	26	0.056	5	0.011	5	0.011
15-19歳	11	0.024	8	0.02	9	0.019	5	0.011	7	0.015
20-29歳	17	0.038	23	0.05	22	0.047	13	0.028	9	0.019
30-39歳	10	0.022	14	0.03	25	0.054	20	0.043	9	0.019
40-49歳	21	0.047	27	0.06	45	0.096	35	0.074	23	0.049
50-59歳	53	0.118	72	0.16	64	0.137	53	0.113	67	0.143
60-69歳	117	0.259	128	0.28	123	0.264	113	0.241	110	0.234
70-79歳	215	0.477	222	0.48	230	0.493	219	0.466	214	0.456
80-89歳	113	0.251	125	0.27	127	0.272	140	0.298	197	0.420
90歳-	18	0.040	20	0.04	16	0.034	30	0.064	38	0.081
全年齢	608	1.348	715	1.55	747	1.600	669	1.424	692	1.474



V-5. 基幹定点からの詳細な患者情報(検査方法・検査結果・採取部位)の検討

1) 検討方法

検討資料はV-2と同様である。

週別把握疾患では疾患別検査方法の情報が得られる。疾患別検査方法別報告数を年次別に示し、疾患別の検査方法の違いや、検査方法の年次変化を検討した。

また、週別把握疾患では病原体検査結果の情報が得られる。2疾患(細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎)の病原体結果を5年間(2001~2005年)まとめて年齢階級別に示し検討した。

月別把握疾患である薬剤耐性菌感染症3疾患では採取部位情報が得られる。疾患別採取部位別報告数を年次別に示し、疾患別の採取部位の違いや、採取部位の年次変化を検討した。また年齢階級別採取部位別報告数を5年間(2001~2005年)まとめて示し、年齢による採取部位の違いを検討した。

2) 検討結果

表V-5-1に週別把握疾患の疾患別検査方法別報告数、表V-5-2に細菌性髄膜炎の年齢階級別検査結果、表V-5-3に無菌性髄膜炎の年齢階級別検査結果、表V-5-4に月別把握疾患の疾患別採取部位別報告数、表V-5-5にMRSA感染症年齢階級別採取部位別報告数、表V-5-6にPRSP感染症年齢階級別採取部位別報告数、表V-5-7に薬剤耐性緑膿菌感染症年齢階級別採取部位別報告数を示す。

週別把握各疾患の主な検査方法は、細菌性髄膜炎は分離培養(報告総数の67.6~75.7%)、無菌性髄膜炎は分離培養(36.6~49.8%)、次いで血清(7.6~15.9%)、マイコプラズマ肺炎は血清(93.2~96.6%)、クラミジア肺炎は血清(87.9~96.9%)、成人麻疹は血清(77.6~100%)であった。各疾患で各年の検査方法別割合に大きな年次変化はなかった。

全年齢の病原体検査結果は、細菌性髄膜炎では多い順に *H.influenzae*(報告総数の17.8%)、*S.pneumoniae*(10.8%)、*Streptococcus-B*(2.0%)であったが、詳細不明が報告総数の39.9%を占めていた。無菌性髄膜炎では *Mumps*(報告総数の9.7%)が圧倒的に多いが、*VirusNT*(ウイルスの型別をしていない)が3.9%、詳細不明は66.4%を占めていた。年齢階級別に病原体検査結果をみると、細菌性髄膜炎では最も多い病原体は10歳未満では *H.influenzae* だが、10歳以上では *S.pneumoniae* であった。無菌性髄膜炎では、いずれの年齢階級も *Mumps* が多かった。

月別把握各疾患の全年齢の採取部位は、MRSA 感染症では喀痰(報告総数の41.8~43.3%)が最も多く、次いで血液(4.1~5.9%)、術創部(5.1~5.6%)、留置カテーテル(4.8~5.9%)が同程度だった。PRSP 感染症では喀痰(23.6~30.3%)、次いで耳漏液(5.1~8.3%)の順、薬剤耐性緑膿菌感染症では喀痰(31.8~39.3%)、次いで留置カテーテル(11.0~18.4%)、膿・分泌液(7.3~10.0%)の順に多かった。各疾患の採取部位別割合には大きな年次変化はなかったが、PRSP 感染症では気管洗浄液、耳漏液の占める割合が近年減少していた。年齢階級別に報告者に占める採取部位別割合をみると、MRSA 感染症では年齢が高くなるほど喀痰から採取される割合が高くなっていった。PRSP 感染症では年齢によって報告者に占める採取部位別割合が異なり、0~4歳では耳漏液(8.1%)、次いで喀痰(5.5%)の順であったが、年齢が高くなるほど喀痰から検出される割合が高くなり、65歳以上では喀痰が81.3%を占めていた。薬剤耐性緑膿菌感染症では報告者に占める採取部位別割合はいずれの年齢階級でも喀痰が最も高かったが、年齢が高くなると留置カテーテルから検出される割合が高くなっていった。

3) 基幹定点からの詳細な患者情報のまとめ

週別把握疾患では検査方法と検査結果が把握されている。検査方法は細菌性髄膜炎・無菌性髄膜炎では分離培養、マイコプラズマ肺炎・クラミジア肺炎・成人麻疹では血清が最も多かった。各疾患で各年の検査方法別割合に大きな年次変化はなかった。検査結果は、細菌性髄膜炎では10歳未満は *H.influenzae*、10歳以上は *S.pneumoniae* が最も多かった。無菌性髄膜炎では全年齢階級で *Mumps* が最も多かった。細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎では年齢別に検査結果を把握することは、疾病予防対策を講じる上で大切に有用な情報である。

月別把握疾患の MRSA 感染症、PRSP 感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症では採取部位が把握されている。3 疾患とも高齢者では喀痰から検出される割合が最も高く、薬剤耐性緑膿菌感染症では年齢が高くなるほど留置カテーテルから検出される割合が増えていた。PRSP 感染症では幼児では耳漏液から検出される割合が高かった。薬剤耐性菌感染症対策を考える上で、各疾患の年齢別採取部位は大切に有用な情報である。

表V-5-1 週別把握疾患の疾患別検査方法別報告数

疾病名	2001年		2002年		2003年		2004年		2005年	
	報告数	% 定点あたり報告数	報告数	% 定点あたり報告数	報告数	% 定点あたり報告数	報告数	% 定点あたり報告数	報告数	% 定点あたり報告数
細菌性髄膜炎 (真菌性を含む)	273	0.59	295	0.63	296	0.64	388	0.82	301	0.64
<検査方法>										
1. 分離培養	200	73.3	210	71.2	200	67.6	272	70.1	228	75.7
2. 抗原検出	13	4.8	9	3.1	17	5.7	13	3.4	8	2.7
3. 核酸・PCR	1	0.4	5	1.7	6	2.0	2	0.5	1	0.3
4. 塗末検鏡	12	4.4	13	4.4	28	9.5	29	7.5	18	6.0
5. 電顕	0	0.0	1	0.3	1	0.3	2	0.5	0	0.0
6. 血清	11	4.0	14	4.7	15	5.1	13	3.4	17	5.6
その他	36	13.2	43	14.6	29	9.8	57	14.7	29	9.6
無菌性髄膜炎	1250	2.68	2948	6.26	1621	3.49	1041	2.21	771	1.64
<検査方法>										
1. 分離培養	457	36.6	1335	45.3	808	49.8	505	48.5	356	46.2
2. 抗原検出	8	0.6	12	0.4	13	0.8	37	3.6	17	2.2
3. 核酸・PCR	33	2.6	44	1.5	12	0.7	11	1.1	12	1.6
4. 塗末検鏡	121	9.7	208	7.1	133	8.2	75	7.2	53	6.9
5. 電顕	5	0.4	8	0.3	4	0.2	1	0.1	1	0.1
6. 血清	171	13.7	224	7.6	181	11.2	165	15.9	95	12.3
その他	455	36.4	1117	37.9	470	29.0	247	23.7	237	30.7
マイコプラズマ肺炎	4249	9.11	4268	9.06	5678	12.23	5966	12.64	6820	14.50
<検査方法>										
1. 分離培養	20	0.5	24	0.6	20	0.4	25	0.4	41	0.6
2. 抗原検出	25	0.6	26	0.6	155	2.7	54	0.9	81	1.2
3. 核酸・PCR	4	0.1	2	0.0	5	0.1	11	0.2	37	0.5
4. 塗末検鏡	43	1.0	47	1.1	37	0.7	13	0.2	4	0.1
5. 電顕	9	0.2	9	0.2	12	0.2	11	0.2	16	0.2
6. 血清	3961	93.2	4017	94.1	5380	94.8	5764	96.6	6527	95.7
その他	187	4.4	143	3.4	69	1.2	88	1.5	114	1.7
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	182	0.39	245	0.52	203	0.44	248	0.53	322	0.68
<検査方法>										
1. 分離培養	0	0.0	2	0.8	1	0.5	1	0.4	5	1.6
2. 抗原検出	5	2.7	2	0.8	1	0.5	4	1.6	1	0.3
3. 核酸・PCR	1	0.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4. 塗末検鏡	1	0.5	0	0.0	1	0.5	2	0.8	1	0.3
5. 電顕	4	2.2	6	2.4	2	1.0	2	0.8	0	0.0
6. 血清	160	87.9	231	94.3	193	95.1	237	95.6	312	96.9
その他	11	6.0	4	1.6	5	2.5	2	0.8	3	0.9
成人麻疹	927	1.99	441	0.94	465	1	60	0.13	8	0.02
<検査方法>										
1. 分離培養	18	1.9	3	0.7	1	0.2	0	0.0	0	0.0
2. 抗原検出	10	1.1	2	0.5	10	2.2	1	1.7	0	0.0
3. 核酸・PCR	4	0.4	3	0.7	5	1.1	0	0.0	0	0.0
4. 塗末検鏡	1	0.1	2	0.5	1	0.2	0	0.0	0	0.0
5. 電顕	2	0.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6. 血清	719	77.6	401	90.9	407	87.5	50	83.3	8	100.0
その他	173	18.7	30	6.8	41	8.8	9	15.0	0	0.0

表V-5-2 細菌性髄膜炎の年齢階級別検査結果(2001-2005年)

病原体	1歳未満		1-4歳		5-9歳		10-19歳		20-29歳		30-49歳		50-69歳		70歳以上		全年齢	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)		(人)
Virus NT	0	0.0%	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.4%	0	0.0%	2	0.1%
Adeno-4	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%
Mumps	0	0.0%	5	1.1%	6	5.7%	1	1.8%	1	1.7%	1	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	14	0.9%
HV group	0	0.0%	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.1%
EBV	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.1%
HSV-1	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.1%
Inf.A(H1)	3	0.8%	3	0.7%	1	0.9%	0	0.0%	1	1.7%	0	0.0%	2	0.9%	0	0.0%	2	0.1%
Inf.B	4	1.0%	3	0.7%	0	0.0%	1	1.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	8	0.5%
Inf.A(H3)	0	0.0%	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	8	0.5%
Mycopl.Pn.	0	0.0%	2	0.5%	1	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%
詳細不明	146	38.0%	146	33.3%	60	56.6%	30	54.5%	35	59.3%	58	45.7%	109	46.8%	66	43.7%	650	41.9%
Bacillus	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%
Coccus	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.8%	0	0.0%	1	0.8%	0	0.0%	1	0.7%	4	0.3%
Coccus	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.4%	0	0.0%	1	0.1%
Pseudomonas sp.	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.4%	0	0.0%	1	0.1%
P.Aeruginosa	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	2.0%	3	0.2%
Campylobacter sp.	2	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.8%	1	0.4%	0	0.0%	1	0.1%
Alcaligenes sp.	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.8%	1	0.4%	0	0.0%	4	0.3%
Escherichia sp.	15	3.9%	2	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%
Citrobacter sp.	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.7%	19	1.2%
Klebsiella sp.	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.4%	0	0.0%	1	0.1%
Enterobacter sp.	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.7%	2	1.6%	1	0.4%	1	0.7%	5	0.3%
Serratia sp.	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.8%	1	0.4%	1	0.7%	3	0.2%
Proteus sp.	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.4%	0	0.0%	1	0.1%
Haemophilus sp.	5	1.3%	5	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.4%	0	0.0%	11	0.7%
H.influenzae	87	22.7%	171	39.0%	11	10.4%	4	7.3%	0	0.0%	1	0.8%	1	0.4%	0	0.0%	277	17.8%
H.parainfluenzae	0	0.0%	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	1.3%	0	0.0%	1	0.1%
Staphylococcus sp.	1	0.3%	2	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	1.3%	1	0.7%	7	0.5%
S.aureus	5	1.3%	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.7%	3	2.4%	2	0.9%	7	4.6%	19	1.2%
S.epidermidis	2	0.5%	2	0.5%	1	0.9%	1	1.8%	2	3.4%	3	2.4%	2	0.9%	8	5.3%	21	1.4%
Peptococcus sp.	0	0.0%	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.1%
Neisseria sp.	0	0.0%	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%
N.meningitidis	0	0.0%	0	0.0%	1	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.9%	1	0.7%	4	0.3%
Peptostreptococcus sp.	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%
Streptococcus sp.	6	1.6%	3	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.7%	1	0.8%	2	0.9%	3	2.0%	16	1.0%
Streptococcus-β hemo	3	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	4	0.3%
Streptococcus-α U vihem	0	0.0%	0	0.0%	1	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	1.7%	0	0.0%	5	0.3%
Streptococcus-D	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.7%	1	0.1%
Streptococcus-B	27	7.0%	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	2	3.4%	0	0.0%	1	0.4%	0	0.0%	31	2.0%
Streptococcus-G	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.7%	1	0.1%
S.pneumoniae	29	7.6%	34	7.8%	9	8.5%	9	16.4%	4	6.8%	20	15.7%	42	18.0%	20	13.2%	167	10.8%
Listeria sp.	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.9%	2	1.3%	4	0.3%
L.monocytogenes	0	0.0%	0	0.0%	1	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.8%	2	0.9%	0	0.0%	4	0.3%
propionibacter.sp.	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.4%	0	0.0%	1	0.1%
Mycobacterium sp.	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.7%	1	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	3	0.2%
M.tuberculosis	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.7%	2	1.6%	1	0.4%	1	0.7%	5	0.3%
Nocardia sp.	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.4%	0	0.0%	1	0.1%
T.pallidum	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.8%	1	0.4%	0	0.0%	2	0.1%
Cryptococcus	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	3.6%	1	1.7%	0	0.0%	3	1.3%	1	0.7%	7	0.5%
Cryptococcus neoformans	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.8%	6	2.6%	5	3.3%	12	0.8%
candida	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.7%	1	0.1%
Pneumocystis	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.8%	1	0.4%	0	0.0%	3	0.2%
その他病原体	42	10.9%	52	11.9%	14	13.2%	6	10.9%	7	11.9%	21	16.5%	30	12.9%	22	14.6%	194	12.5%
合計	384	100.0%	438	100.0%	106	100.0%	55	100.0%	59	100.0%	127	100.0%	233	100.0%	151	100.0%	1553	100.0%

表V-5-3 無菌性髄膜炎の年齢階級別検査結果(2001-2005年)

病原体	1歳未満		1-4歳		5-9歳		10-19歳		20-29歳		30-49歳		50-69歳		70歳以上		全年齢	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
Virus NT	28	3.9%	78	4.5%	131	4.5%	39	3.8%	11	2.6%	7	1.2%	3	1.9%	0	0.0%	297	3.9%
Adeno NT	0	0.0%	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.0%
adeno-3	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.0%
Coxs.A6	0	0.0%	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.0%
Coxs.B2	1	0.1%	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.0%
Coxs.B4	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.0%
Coxs.B5	0	0.0%	0	0.0%	2	0.1%	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	0.0%
Echo NT	1	0.1%	2	0.1%	5	0.2%	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	9	0.1%
Echo-4	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.0%
Echo-6	0	0.0%	0	0.0%	3	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	0.0%
Echo-7	0	0.0%	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.0%
Echo-11	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.0%
Echo-13	4	0.6%	0	0.0%	7	0.2%	7	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	18	0.2%
Echo-25	0	0.0%	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.0%
Mumps	9	1.2%	241	13.9%	382	13.1%	69	6.7%	11	2.6%	28	4.8%	3	1.9%	0	0.0%	743	9.7%
HV group	1	0.1%	0	0.0%	1	0.0%	0	0.0%	2	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.7%	5	0.1%
HSV NT	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.7%	3	0.0%
VZV	0	0.0%	1	0.1%	2	0.1%	0	0.0%	2	0.5%	1	0.2%	2	1.2%	0	0.0%	8	0.1%
HSV-1	0	0.0%	1	0.1%	0	0.0%	1	0.1%	2	0.5%	3	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	7	0.1%
Measles	0	0.0%	1	0.1%	2	0.1%	6	0.6%	0	0.0%	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	10	0.1%
Rubella	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.6%	0	0.0%	1	0.0%
Enterov68	0	0.0%	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.0%
Enterov71	2	0.3%	2	0.1%	1	0.0%	1	0.1%	0	0.0%	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	7	0.1%
HIV	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.0%
Inf.A(H1)	0	0.0%	1	0.1%	1	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	3	0.0%
Inf.B	0	0.0%	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.0%
Chlamydia Pneumoniae	0	0.0%	0	0.0%	1	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.7%	2	0.0%
Mycopl.Pn.	1	0.1%	15	0.9%	25	0.9%	12	1.2%	4	0.9%	1	0.2%	4	2.5%	1	1.7%	63	0.8%
詳細不明	553	76.7%	1132	65.2%	1852	63.5%	729	70.4%	321	76.1%	424	73.2%	121	75.2%	49	83.1%	5181	67.9%
Pseudomonas sp.	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.6%	0	0.0%	1	0.0%
Proteus sp.	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.6%	0	0.0%	1	0.0%
H.influenzae	3	0.4%	2	0.1%	1	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	0.1%
Staphylococcus sp.	0	0.0%	0	0.0%	1	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.0%
S.aureus	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.7%	2	0.0%
N.meningitidis	2	0.3%	0	0.0%	3	0.1%	2	0.2%	0	0.0%	5	0.9%	1	0.6%	1	1.7%	14	0.2%
Mycobacterium sp.	0	0.0%	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.0%
Cryptococcus	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.6%	0	0.0%	1	0.0%
その他病原体	113	15.7%	255	14.7%	497	17.0%	164	15.8%	64	15.2%	105	18.1%	23	14.3%	4	6.8%	1225	16.1%
合計	721	100.0%	1737	100.0%	2917	100.0%	1035	100.0%	422	100.0%	579	100.0%	161	100.0%	59	100.0%	7631	100.0%

注：Virus.NT (Not Typed) ・ ・ ウイルスであることは分かったが、どういったウイルスであるか型別していない

表V-5-4 月別把握疾患の疾患別採取部位別報告数

疾病名	2001年		2002年		2003年		2004年		2005年	
	報告数	%	報告数	%	報告数	%	報告数	%	報告数	%
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	18257		19904		21117		21835		22454	
<採取部位>										
喀痰（肺炎）	7640	41.8	8201	41.2	8912	42.2	9364	42.9	9721	43.3
気管洗浄液	185	1.0	199	1.0	193	0.9	134	0.6	132	0.6
血液	748	4.1	943	4.7	1028	4.9	1173	5.4	1315	5.9
髄液	23	0.1	37	0.2	25	0.1	31	0.1	40	0.2
胸水	77	0.4	76	0.4	84	0.4	91	0.4	85	0.4
腹水	54	0.3	58	0.3	73	0.3	102	0.5	77	0.3
術創部（創部感染）	1030	5.6	1040	5.2	1077	5.1	1212	5.6	1259	5.6
留置カテーテル（血管・気管・尿路・体内・その他）	874	4.8	965	4.8	1106	5.2	1210	5.5	1328	5.9
その他	7626	41.8	8385	42.1	8619	40.8	8518	39.0	8497	37.8
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	5202		6071		6400		6700		6217	
<採取部位>										
喀痰（肺炎）	1577	30.3	1594	26.3	1690	26.4	1582	23.6	1702	27.4
気管洗浄液	164	3.2	150	2.5	95	1.5	56	0.8	39	0.6
血液	63	1.2	73	1.2	81	1.3	103	1.5	109	1.8
髄液	21	0.4	18	0.3	12	0.2	25	0.4	29	0.5
胸水	5	0.1	8	0.1	9	0.1	6	0.1	11	0.2
腹水	4	0.1	2	0.0	6	0.1	3	0.0	1	0.0
術創部（創部感染）	10	0.2	11	0.2	5	0.1	11	0.2	7	0.1
耳漏液	430	8.3	389	6.4	371	5.8	347	5.2	320	5.1
その他	2928	56.3	3826	63.0	4131	64.5	4567	68.2	3999	64.3
薬剤耐性緑膿菌感染症	608		715		747		669		692	
<採取部位>										
喀痰（肺炎）	239	39.3	267	37.3	286	38.3	213	31.8	243	35.1
気管洗浄液	5	0.8	4	0.6	3	0.4	1	0.1	2	0.3
血液	16	2.6	34	4.8	15	2.0	24	3.6	22	3.2
髄液	0	0.0	1	0.1	2	0.3	0	0.0	1	0.1
胸水	2	0.3	2	0.3	1	0.1	3	0.4	1	0.1
腹水	3	0.5	1	0.1	5	0.7	4	0.6	3	0.4
術創部（創部感染）	17	2.8	20	2.8	13	1.7	19	2.8	14	2.0
留置カテーテル（血管・気管・尿路・体内・その他）	67	11.0	84	11.7	102	13.7	123	18.4	109	15.8
膿（開放創・非開放創）・分泌液	61	10.0	76	10.6	62	8.3	49	7.3	57	8.2
その他	198	32.6	226	31.6	258	34.5	233	34.8	240	34.7

表V-5-5 MRSA感染症 年齢階級別採取部位別報告数(2001-2005年)

採取部位	年齢階級							
	0-4歳		5-19歳		20-64歳		65歳-	
喀痰（肺炎）	472	5.8%	425	16.0%	6653	30.3%	36288	51.3%
気管洗浄液	207	2.5%	32	1.2%	144	0.7%	460	0.6%
血液	200	2.4%	70	2.6%	1292	5.9%	3645	5.2%
髄液	11	0.1%	8	0.3%	69	0.3%	68	0.1%
胸水	9	0.1%	5	0.2%	136	0.6%	263	0.4%
腹水	12	0.1%	4	0.2%	138	0.6%	210	0.3%
術創部（創部感染）	261	3.2%	155	5.8%	2045	9.3%	3157	4.5%
留置カテーテル（血管・気管・尿路・体内・その他）	318	3.9%	116	4.4%	1403	6.4%	3646	5.2%
その他	6677	81.8%	1840	69.3%	10092	45.9%	23036	32.5%
計	8167	100.0%	2655	100.0%	21972	100.0%	70773	100.0%

表V-5-6 PRSP感染症 年齢階級別採取部位別報告数(2001-2005年)

採取部位	年齢階級							
	0-4歳		5-19歳		20-64歳		65歳-	
喀痰（肺炎）	1011	5.5%	264	10.1%	2028	54.5%	4842	81.3%
気管洗浄液	281	1.5%	40	1.5%	65	1.7%	118	2.0%
血液	208	1.1%	15	0.6%	83	2.2%	123	2.1%
髄液	41	0.2%	8	0.3%	39	1.0%	17	0.3%
胸水	2	0.0%	0	0.0%	14	0.4%	23	0.4%
腹水	3	0.0%	1	0.0%	4	0.1%	8	0.1%
術創部（創部感染）	15	0.1%	4	0.2%	15	0.4%	10	0.2%
耳漏液	1489	8.1%	90	3.4%	174	4.7%	104	1.7%
その他	15243	83.3%	2195	83.9%	1300	34.9%	713	12.0%
計	18293	100.0%	2617	100.0%	3722	100.0%	5958	100.0%

表V-5-7 薬剤耐性緑膿菌感染症 年齢階級別採取部位別報告数(2001-2005年)

採取部位	年齢階級							
	0-4歳		5-19歳		20-64歳		65歳-	
喀痰（肺炎）	37	23.3%	67	49.6%	256	30.0%	888	38.9%
気管洗浄液	3	1.9%	0	0.0%	4	0.5%	8	0.4%
血液	4	2.5%	6	4.4%	47	5.5%	54	2.4%
髄液	0	0.0%	0	0.0%	3	0.4%	1	0.0%
胸水	0	0.0%	0	0.0%	2	0.2%	7	0.3%
腹水	0	0.0%	1	0.7%	5	0.6%	10	0.4%
術創部（創部感染）	3	1.9%	2	1.5%	33	3.9%	45	2.0%
留置カテーテル（血管・気管・尿路・体内・その他）	13	8.2%	15	11.1%	108	12.6%	349	15.3%
膿（開放創・非開放創）・分泌液	19	11.9%	12	8.9%	83	9.7%	191	8.4%
その他	80	50.3%	32	23.7%	313	36.7%	730	32.0%
計	159	100.0%	135	100.0%	854	100.0%	2283	100.0%

V-6. 基幹定点対象疾患における患者情報の有効活用のまとめ

基幹定点からの情報の現状を把握（2001～2005年データの基本的集計）し、基幹定点からの情報の有効活用を検討した。

実際に保健所に患者情報の報告を行っている基幹定点数は、2005年は全国で約470か所であった。ほとんどの都道府県で、二次医療圏あたり基幹定点数（基幹定点数/二次医療圏数）は1以上2未満であった。「患者を300人以上収容する病院を各二次医療圏域毎に1か所以上基幹定点として指定する」という現行の選定基準は守られていると推測された。

全国の基幹定点からの年間報告数は、細菌性髄膜炎は273～388人（定点あたり0.59～0.82人）、無菌性髄膜炎は771～2948人（定点あたり1.64～6.26人）、マイコプラズマ肺炎は4268～6820人（定点あたり9.06～14.50人）、クラミジア肺炎は182～322人（定点あたり0.39～0.68人）、成人麻疹は8～927人（定点あたり0.02～1.99人）、MRSA感染症は18,257～22,454人（定点あたり40.48～47.82人）、PRSP感染症は5202～6700人（定点あたり11.53～14.26人）、薬剤耐性緑膿菌感染症は608～747人（定点あたり1.35～1.60人）で、疾患によって報告数は様々だった。基幹定点からの年間報告数を性別にみると、細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、クラミジア肺炎、MRSA感染症、PRSP感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症では男に多く、成人麻疹では男女差はなく、マイコプラズマ肺炎では女に多かった。マイコプラズマ肺炎の性比（男/女）は各年0.9前後であった。患者の性比は臨床的に重要な情報であり、有効に活用できる。

全国の基幹定点からの報告患者の年齢分布は疾患によって異なっていた。全国の基幹定点あたり報告数を年齢別に観察すると、クラミジア肺炎、MRSA感染症などでは年齢によって年次推移が異なっており、マイコプラズマ肺炎では特定の年齢（0～4歳）で特に定点あたり報告数が増加していた。基幹定点からの患者情報は、各疾患の年齢分布の把握や年齢別の流行状況の把握に役立つ。

全国の基幹定点あたり報告数を経時的に観察すると、定点あたり報告数が各年増加する季節（無菌性髄膜炎－夏季、マイコプラズマ肺炎－冬季、成人麻疹－春から夏季、PRSP感染症－5～6月と12月頃）が明らかになり、疾患別の流行季節と考えられた。また無菌性髄膜炎は2002年、成人麻疹は2001年に定点あたり報告数が最も増加しており、流行年次と考えられた。マイコプラズマ肺炎・MRSA感染症では年を追う毎に、クラミジア肺炎は2003年以降は年を追う毎に定点あたり報告数が増加していた。一方成人麻疹では2004年以降定点あたり報告数が激減していた。これは小児の麻疹に合致した動向である。全国の定点あたり報告数の変化は罹患者数の変化を反映していると考えられ、有効な情報である。

地方別に基幹定点あたり報告数を経時的に観察すると、多くの地方で全国同様の季節的変化（季節的流行）がみられた。地方別の観察によって、各地方における流行状況の特徴が把握できると考えられる。一方多くの疾患でどの年次でも、中国地方は定点あたり報告数が多いが北海道は少ないといった地方間の差がみられた。この差は罹患者数の多少の反映とは考えにくく、地方による医療施設レベルやカバーする人口の違いの反映と考えられる。地方によって医療施設レベルやカバーする人口が異なるため、地方別に定点あたり報告数を観察しても流行の地方格差は把握できないものとする。

都道府県別に定点あたり報告数を年次別に観察すると、無菌性髄膜炎やマイコプラズマ肺炎、成人麻疹では様々な年次変化がみられた。都道府県別に定点あたり報告数を年次別に観察すると、各都道府県における流行状況が把握できると考えられる。ある疾患で定点あたり報告数が増加した時に、保健所や県が、県内の全ての定点で同様の変化がみられるのか、特定の定点のみで変化がみられるのか、定点の変更の影響であるのかなどを調査し確認すれば、情報（都道府県別定点あたり報告数）を有効

に活用できる。疾患発生動向を早期に把握し対策をたてるためには、全国だけでなく地方別、都道府県別にも定点あたり報告数の時間的推移を観察することが有用であると考えられた。

週別把握疾患では検査方法と検査結果が把握されている。検査方法は細菌性髄膜炎・無菌性髄膜炎では分離培養、マイコプラズマ肺炎・クラミジア肺炎・成人麻疹では血清が最も多かった。いずれの疾患でも各年次の検査方法別割合に大きな変化はなかった。検査結果は、細菌性髄膜炎では10歳未満は *H.influenzae*、10歳以上は *S.pneumoniae* が最も多かった。無菌性髄膜炎では全年齢階級で *Mumps* が最も多かった。細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎では年齢別に検査結果を把握することは、疾病予防対策を講じる上で大切に有用な情報である。

月別把握疾患では採取部位が把握されている。MRSA 感染症、PRSP 感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症の採取部位はいずれも喀痰が最も多かった。年齢別にみると PRSP 感染症では0～4歳では耳漏液、次いで喀痰の順に多かった。薬剤耐性菌感染症対策を考える上で、各疾患の年齢別採取部位は大切に有用な情報である。

VI. 情報システムに関する検討

－2006年4月に施行された新システム(National Epidemiological Surveillance of Infectious Diseases : NESID)について－

わが国の感染症サーベイランスは、1981（昭和 56）年 7 月に小児科の日常診療でよくみられる麻疹を含む麻疹様疾患、風疹、流行性耳下腺炎などの 18 疾患を対象に、厚生労働省の事業として開始された。その後対象疾患は拡大され、1987 年 1 月には、小児の疾患として MCLS とインフルエンザが追加されたほか、ウイルス性肝炎、性感染症などの成人の感染症も追加され、対象疾患は 27 疾患となった。この背景には、公衆衛生の向上や生活環境の変化などによって、伝染病予防法に基づく法定・指定伝染病などに規定されていた疾患が急速に減少した反面、風疹、手足口病、ウイルス性肝炎、性感染症などの流行が社会的な問題となったことがある。すなわち、感染症のなかでも日常診療の主体を占める疾患の、患者発生状況、病原体検索結果などの流行実態を、早期かつ的確に把握することにより、必要な情報を速やかに還元して、これらの感染症の蔓延を未然に防ぎ、また予防接種などの適切な予防措置を高じることを目的としたものである。コンピュータオンラインシステムによる報告は 1987 年 1 月には同時に開始された。一部の対象疾患は伝染病予防法の対象疾患と重なっていたため、情報収集の不統一が指摘されていたが、1999 年 4 月の「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）」の施行に伴い、一本化した感染症サーベイランス（感染症発生動向調査）として情報収集されるようになった。2003 年（11 月 5 日施行）には法改正が行われ、対象疾患、分類、行政対応などについて見直された。しかしこの時には、改定に即応したシステムの変更は行われなかった。また、昨今の感染症を取り巻く状況をみると、リアルタイムに感染症の発生状況を把握して迅速に対応することが必至となっており、さらに、これを実現するための IT 技術も進歩している。これらの背景の下、厚生労働省は 2005 年に感染症発生動向調査システムの開発に着手し、2006 年 4 月に新たなシステム(National Epidemiological Surveillance of Infectious Diseases : NESID)の稼動に到った。新システムの開発に関しては、中央および地方感染症情報センター担当者、保健所担当者、発生動向調査システム専門家、システム設計専門家から成る評価委員会が設置され、その提言を基本として進められた。

本章では、感染症法に基づく感染症発生動向調査のうち、患者情報を対象として、新システム開発上の課題（従来システムにみられた問題点）、新システムの概要、さらなる改定に関する提言を行う。本章では 2006 年 4 月 1 日開始のシステムを新システム、1999 年 4 月 1 日以降新システム開始までのシステムを従来システムと称する。

VI-1. 従来システムにみられた問題点

- ①データ保存を目的としたサーベイランス
- ②自治体から国への報告を目的としたシステム
- ③データ消失の危険、送信用ファイル作成の手間、修正・追加・削除の困難
- ④通信速度の遅さ

⑤利用に不適当な提供（還元）データ

従来のシステムは、届出を受理した自治体（都道府県知事・政令指定都市長）から国へ報告することを目的として開発されたものであり、集められたデータは、自治体、国のいずれにおいても、主として保存するためのものとして扱われていた。すなわち、本来の感染症サーベイランスの目的である感染症対策に資するためのデータであることが、関係者の間で十分に理解されていなかったものと考えられる。また、提供時期や内容そのものが、活用しにくいあるいは活用不可能な形のデータであったことも考慮しなければならない。一方、データの保存という点においても、定点把握疾患においては、通信容量の制限から、保健所においては定点医療機関毎に入力・保存されているものが、中央感染症情報センターには集計ファイルとしてのみ送信されており、保健所で蓄積・保存されるはずの生のデータが失われるといった事故が発生していたことなども含め、本来なされるべきデータ保存は決して十分なものではなかった。

従来システム上の具体的な報告と還元の流れは、図1に示したように、①保健所は、診断後直ちに届け出される全数把握疾患も含め、週単位で報告される定点把握疾患に合わせた週に一回、報告ファイルを作成して都道府県に送信する。②地方感染症情報センターは、各保健所から報告ファイルを受け、国への報告ファイル（集計ファイル）を作成して送信する。③中央感染症情報センターは、集計ファイル・情報還元ファイルを作成する。還元データは、地方感染症情報センター、厚生労働省、検疫所、国立感染症研究所等の関係機関・部局へ送信され、保健所、地方衛生研究所、自治体の感染症所管課には、地方感染症情報センターから提供される。一般公開に関しては、国における公開は週一回の週報（Infectious Diseases Weekly Report: IDWR）の発行を以って行われており、週単位の定点把握疾患では当該週最終日から12日後、全数把握疾患では届け出から最大で18日後である。このように、従来システムは、アウトブレイク発生時における適切な対応に結びつくような情報が迅速に取得できるものではなかった。また、各段階での報告ファイル作成・送信は、情報が遅れることのみならず、データの修正、追加、削除を困難にし、入力ミスによるデータの誤りを生じる機会にもなっていたと考えられる。

また通信は、厚生労働行政総合情報システム（Wide-area Information exchange System for Health administration ; WISH）を基盤として電話回線を通じて行われ、大量のデータ送信には長時間とそれに対応した通信費を要していた。

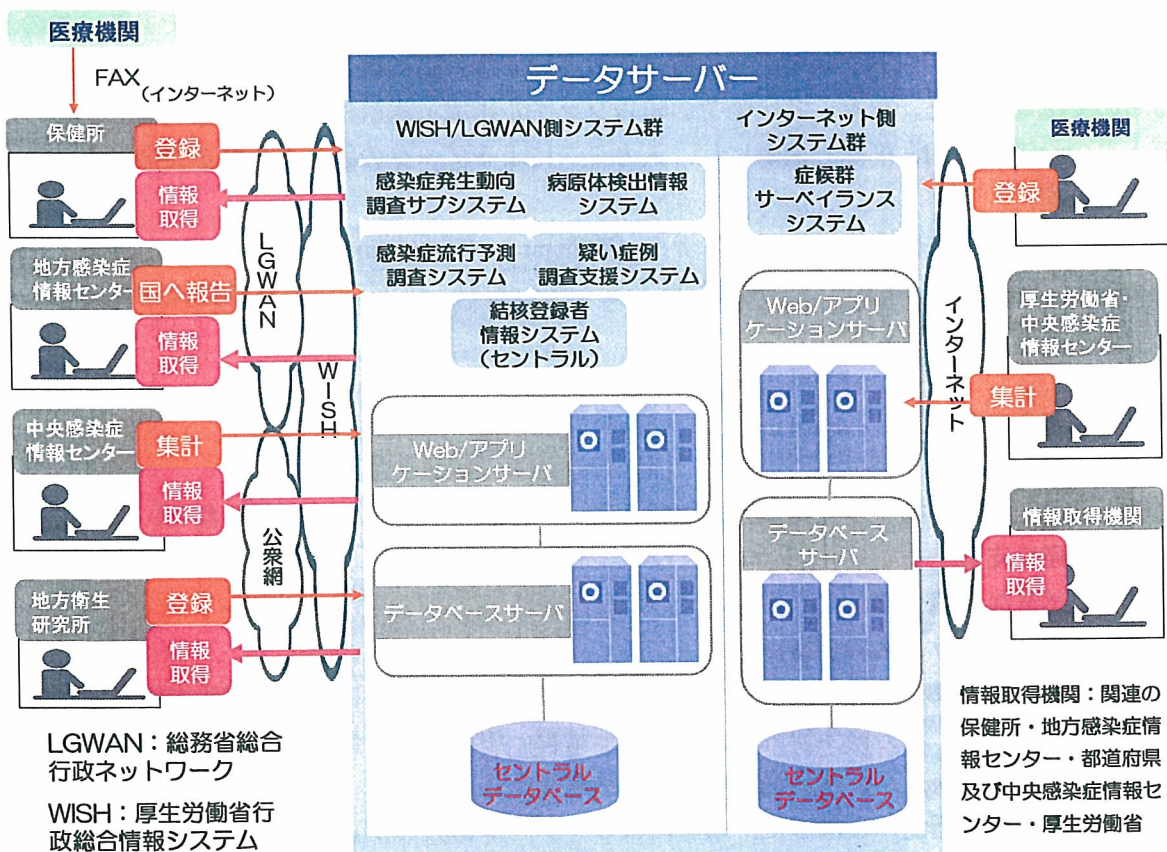
VI-2. 新システムの概要

- ①中央データベースの構築（関係機関間の情報共有、サブシステム間の情報共用など）
- ②情報解析業務の支援
- ③集計情報の迅速な一般公開
- ④自治体独自サーベイランスの支援

新システムでは、中央データベースで一元的にデータ管理することにより、関係機関（保健所、地方感染症情報センター、地方衛生研究所、感染症所管課、中央感染症情報センター、国立感染症研究所、検疫所、厚生労働省）が、常に最新の情報を共有することが可能（各々の権限の範囲で、データベースから情報取得が可能）となった。これにより、データ消失の防止が図られ、報告ファイル及び集計ファイルの作成・送信は不要となり、データの修正・追加・削除報告は以前に比べて容易になった。中央データベースには、6つのサブシステム（患者情報、病原体情報、流行予測、症候群サーベ

イランス、疑い症例、結核患者登録)のデータが登録され、患者情報、病原体情報、疑い症例などの関連するサブシステム間での情報共有も可能な構造となっている。解析業務支援として、定型グラフやマップの自動作成機能が追加され、本研究班の開発による警報・注意報システムおよび罹患数推計システムも投入された。週1回のみであった定型的集計は、一日一回自動的に更新されるようになった(随時に集計することが提案されたが、システム負荷量の問題から不可能と判断され、夜間処理による一日一回の実現となった)。また、ほとんどすべてのデータをCSV(エクセルデータ)にて取得可能となり、このことは独自の解析を容易にするのみならず、将来の外部関連機関との情報共有にも有用である。集計時の一般公開用ファイル自動作成機能により、集計値の迅速な一般公開が可能となった。その他の定点把握疾患についての変更として、定点医療機関の特性(標榜科情報)が登録されるようになったこと、自治体独自疾患の追加が可能となったこと、医療機関からエクセルで送信されるデータの投入が可能となったことがあげられる。通信面においては、厚生労働省固有のシステムであるWISHは継続するものの、電話回線に代えて、総務省が中心となって推進し、一部の自治体を除いては、国と自治体を専用回線でつないでいるLocal Government Wide Area Network; LGWANを経由することとなった。これにより、経費面のみならず、従来システムの問題点のひとつであった通信速度の遅さも改善するはずであった。しかし実際には、時間的改善が図られたとは言い難い状況が認められている。

図1 感染症サーベイランス新システム



VI-3. 新システムの実際

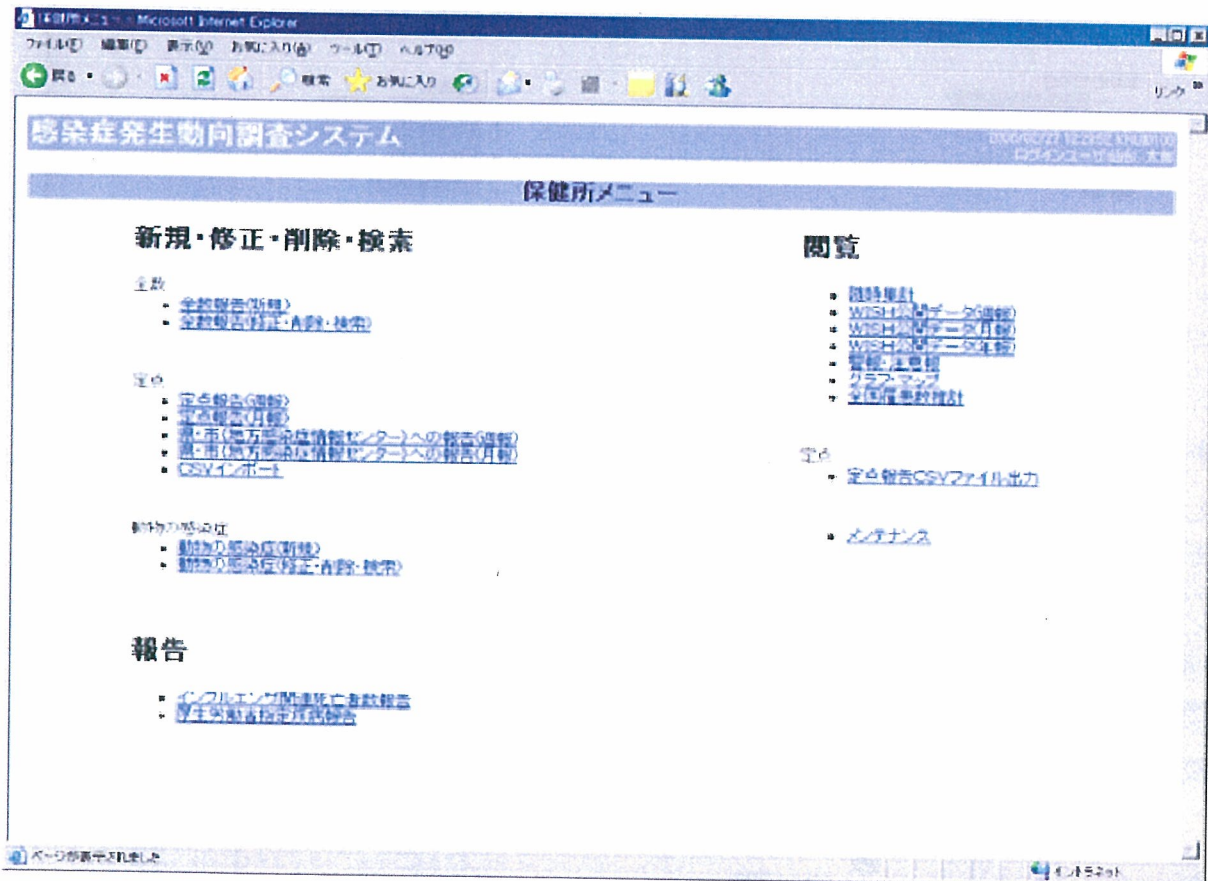
①ID、パスワードの発行

機関毎にシステムアドミニストレータを一名置き、各機関の利用者に対して、ID、パスワードを発行し、管理している。IDにより各サブシステムへのアクセス権限、個人情報を含む情報についてはさらに個人情報の閲覧権限が指定される。

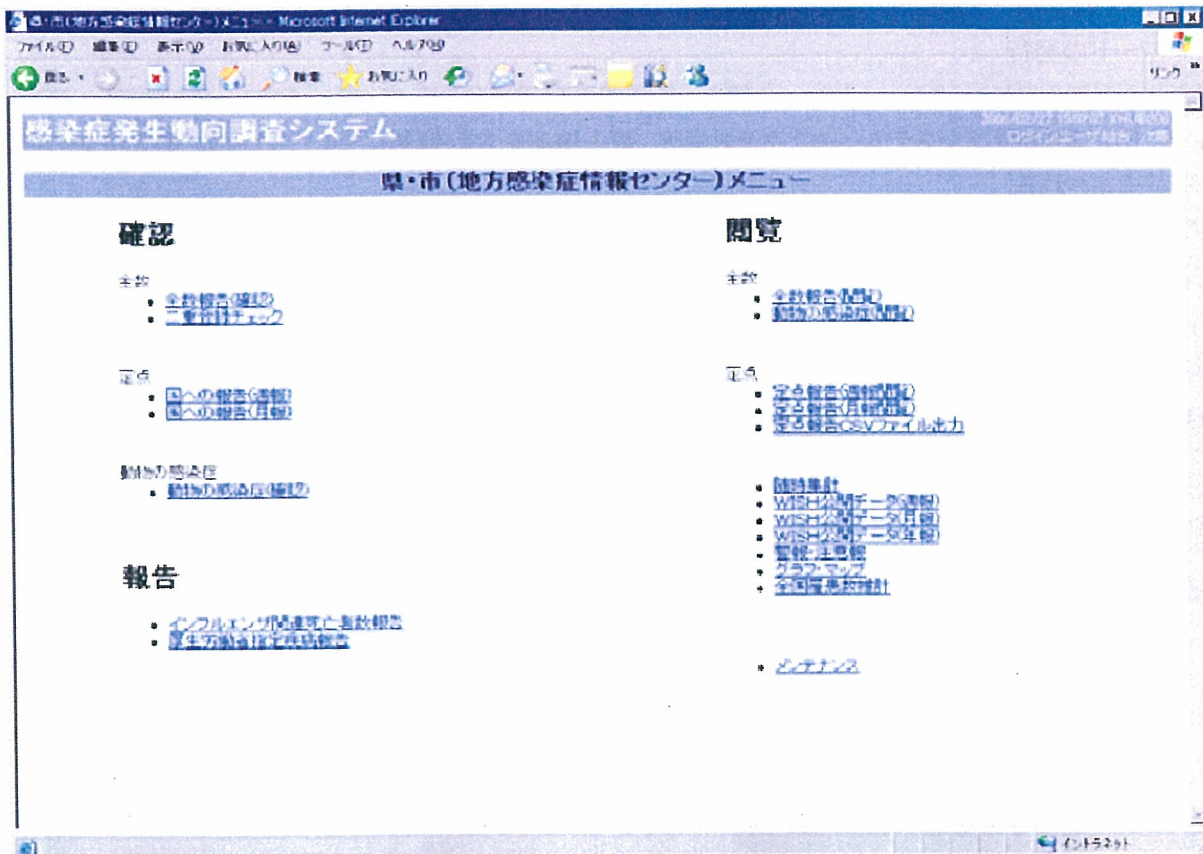
②実際の画面例

a)感染症発生動向調査(患者情報)に関する保健所、地方感染症情報センター・県/政令指定都市、中央感染症情報センター・厚生労働省の各々の使用メニュー

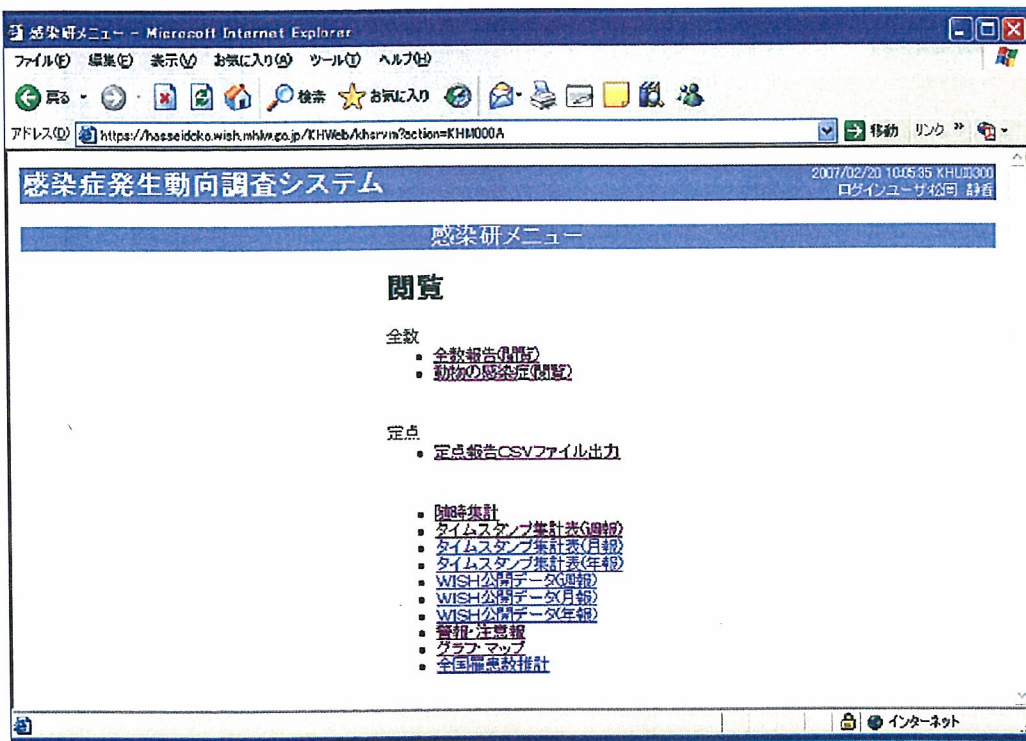
<保健所メニュー画面>



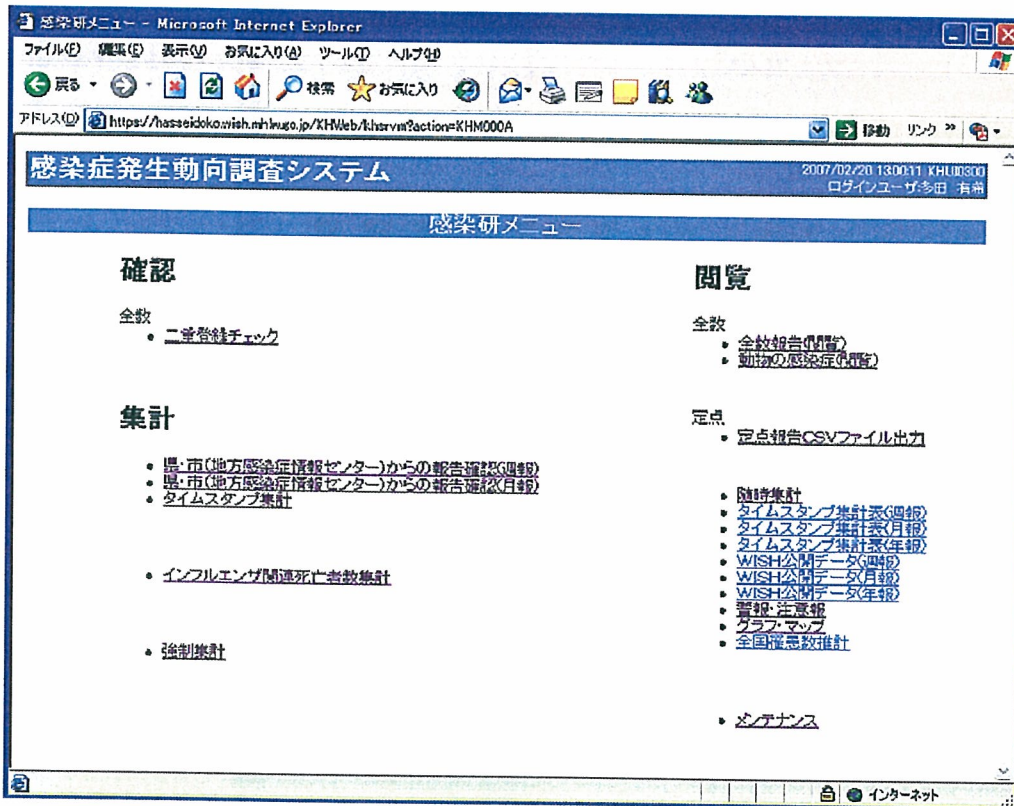
<地方感染症情報センターメニュー画面>



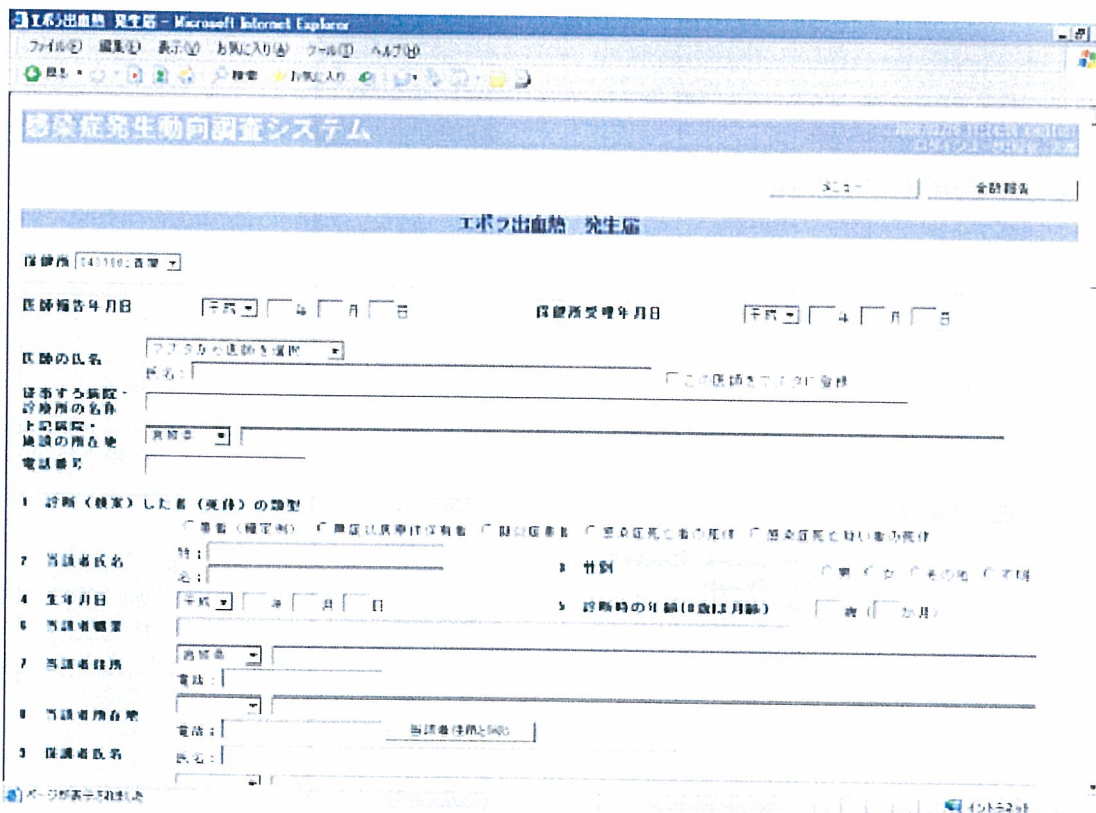
<中央感染症情報センターメニュー画面(閲覧のみ可能な利用者)>



< 感染研メニュー画面 (集計、閲覧の可能な利用者) >



b) 全数把握疾患入力画面



c) 定点把握疾患入力画

感染症発生動向調査システム

定点報告入力(小児科)

調査期間 2006年19週 (2006/05/08 ~ 2006/05/14)

保健所 138800 鳥上 定点医療機関

疾病名	性別	週																
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	合計
RSウイルス感染症	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
咽頭結核熱	男	0	0	1	0	1	0	1	2	2	0	0	1	0	0	0	0	8
	女	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	19
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
感染性胃腸炎	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水痘	男	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	女	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
手足口病	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伝染性紅斑	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
突発性発疹	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
百日咳	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

d) 集計(還元)データ一覧画面

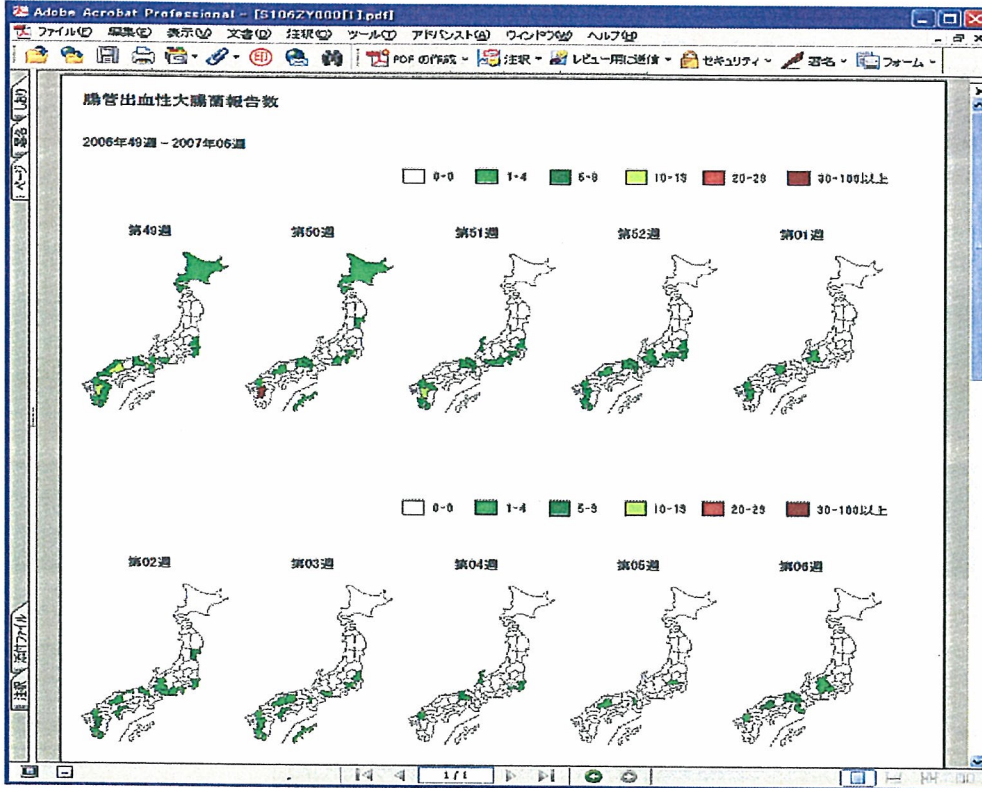
各集計票はcsvで提供される。

Index of /Haseidoko/week/2007年/06週

Name	Last modified	Size	Descrip
Parent Directory	15-Feb-2007 11:30	-	
2007年06週.zip	15-Feb-2007 11:30	124k	
S0012#W20.報告数・異族報告数・疾病・都道府県・性別.csv	15-Feb-2007 11:30	77k	
S0022#W20.報告数・異族報告数・疾病・保健所・性別.csv	15-Feb-2007 11:30	622k	
S0042#W00.報告数・年齢階級・疾病・性別.csv	15-Feb-2007 11:30	25k	
S0052#W00.累積報告数・年齢階級・疾病・性別.csv	15-Feb-2007 11:30	25k	
S021T#W20.報告数・定点当り報告数・疾病・都道府県・性別.csv	15-Feb-2007 11:30	35k	
S022T#W20.報告数・定点当り報告数・疾病・保健所・性別.csv	15-Feb-2007 11:30	881k	
S024T#W00.報告数・定点当り報告数・年齢階級・疾病・性別<インフルエンザ及び小児科>.csv	15-Feb-2007 11:30	12k	
S025T#W00.報告数・定点当り報告数・年齢階級・疾病・性別<眼科>.csv	15-Feb-2007 11:30	3k	
S026T#W00.報告数・定点当り報告数・年齢階級・疾病・性別<養老>.csv	15-Feb-2007 11:30	4k	
S027T#W20.累積報告数・定点当り累積報告数・疾病・都道府県・性別.csv	15-Feb-2007 11:30	38k	
S028T#W00.累積報告数・定点当り累積報告数・年齢階級・疾病・性別<インフルエンザ及び小児科>.csv	15-Feb-2007 11:30	12k	
S030T#W00.累積報告数・定点当り累積報告数・年齢階級・疾病・性別<眼科>.csv	15-Feb-2007 11:30	3k	
S031T#W00.累積報告数・定点当り累積報告数・年齢階級・疾病・性別<養老>.csv	15-Feb-2007 11:30	4k	
S037T#W20.定点数・定点種別・都道府県別.csv	15-Feb-2007 11:30	2k	
S038T#W20.定点数・定点種別・保健所別.csv	15-Feb-2007 11:30	17k	
S079D#W20.報告数・異族報告数・疾病<動物>・都道府県別.csv	15-Feb-2007 11:30	4k	
S073D#W20.報告数・異族報告数・疾病<動物>・保健所別.csv	15-Feb-2007 11:30	48k	

e) グラフ・マップ

例: 腸管出血性大腸菌感染症の指定週から過去10週間の全国報告数



f) 警報・注意報

<スタート画面>

今週の警報・注意報の概況 (詳細へ)	
インフルエンザ	警報・注意報レベルあり
咽頭結核熱	警報レベルあり
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	警報レベルあり
感染性胃腸炎	警報レベルあり
水痘	警報・注意報レベルあり
手足口病	警報レベルあり
伝染性紅斑	警報レベルあり
流行性耳下腺炎	警報・注意報レベルあり
急性出血性結膜炎	警報レベルあり
流行性角結膜炎	警報レベルあり

(保健所単位で、警報・注意報の規定の基準値を超えた場合に発生する)

<マップ>

警報・注意報のマップ(2007年6週) - Microsoft Internet Explorer

2007/12/20 10:05:51 KHUI003
ログインユーザ: 松岡 静香

感染症発生動向調査システム

警報・注意報のマップ(2007年6週)

疾病	インフルエンザ	保健所数	71~100%	警報レベル	注意報レベル
期間	今週~9週前		31~70%		
			1~30%		

最新集計週を含む過去10週間分を表示

他の疾病を表示

- インフルエンザ
- 手足口病
- 麻疹
- 咽頭結核菌症
- 伝染性紅斑
- 流行性耳下腺炎
- △軽度血性レンサ球菌咽頭炎
- 百日咳
- 急性出血性結膜炎
- 感染性胃腸炎
- 風疹
- 流行性角結膜炎
- 水痘
- ヘルペスウイルス

全国の概要を表示 | スタートへ戻る

<帳票>

都道府県の保健所別の定点当たり報告数と警報・注意報レベル状況

インフルエンザ・東京都(2007年第06週)

○: 警報レベル、△: 注意報レベル、-: 警報・注意報レベルなし

	今週		1週前		2週前		3週前		4週前		5週前		6週前		7週前		8週前		9週前	
	定当	状況	定当	状況	定当	状況	定当	状況	定当	状況	定当	状況	定当	状況	定当	状況	定当	状況	定当	状況
世田谷区	7.50	-	4.40	-	1.63	-	1.13	-	0.44	-	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-
渋谷区	6.03	-	3.50	-	0.50	-	0.93	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
渋谷区	9.71	-	7.47	-	1.80	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
品川区	12.00	△	7.26	-	1.00	-	0.26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
足立区	7.79	-	3.55	-	1.84	-	0.64	-	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
葛飾区	10.22	△	4.11	-	1.78	-	0.53	-	0.22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
江戸川区	29.62	△	12.49	△	4.03	-	1.16	-	0.45	-	0.09	-	0.20	-	-	-	-	-	-	-
台東区	5.00	-	2.20	-	0.80	-	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
台東区	2.17	-	1.00	-	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
台東区	6.00	-	4.19	-	2.50	-	0.69	-	-	-	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-
杉並区	3.92	-	0.92	-	0.00	-	0.42	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北区	14.88	△	7.00	-	2.88	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
墨田区	3.33	-	1.50	-	1.17	-	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
墨田区	3.49	-	1.50	-	0.71	-	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.49
中央区	6.33	-	3.00	-	2.11	-	0.22	-	-	-	-	-	-	2.39	-	0.14	-	-	-	-
港区	3.89	-	6.44	-	1.44	-	0.11	-	0.25	-	0.11	-	-	-	-	-	-	-	-	-
品川区	3.20	-	1.40	-	1.40	-	0.70	-	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
目黒区	1.60	-	0.60	-	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
目黒区	9.50	-	6.75	-	2.42	-	1.08	-	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
文京区	0.20	-	0.60	-	3.00	-	0.60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
豊田区	0.60	-	3.17	-	0.83	-	1.17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
江東区	0.60	-	6.00	-	1.75	-	0.18	-	-	-	0.26	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中央区	3.75	-	0.75	-	0.50	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
多摩区	0.10	-	4.29	-	1.75	-	0.48	-	0.19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西多摩	5.00	-	2.70	-	1.71	-	0.39	-	-	-	-	-	-	0.29	-	-	-	-	-	-
八王子	0.50	-	4.08	-	2.03	-	1.00	-	0.19	-	0.19	-	-	-	-	-	-	-	-	-
町田	3.14	-	6.29	-	2.08	-	0.71	-	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
国分寺	0.60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
国分寺	10.19	△	3.69	-	1.13	-	0.68	-	-	-	0.19	-	-	-	-	-	-	-	-	-
多摩市	6.77	-	2.46	-	1.31	-	0.77	-	0.15	-	0.15	-	-	-	-	-	-	-	-	-
多摩市	3.48	-	6.79	-	1.71	-	0.71	-	0.36	-	0.15	-	-	-	-	-	-	-	-	-

